

氏名：中島 護雄

所属専攻・職名：工学部 物理工学科 機械システム学コース 3年

派遣国：アメリカ合衆国

派遣先(研究機関名)：カリフォルニア大学デービス校

受入研究者(職・氏名)：Prof Janis Williamson, International English and Professional Programs Director

派遣期間：2012年8月9日～2012年9月3日(26日間)

派遣先での研究テーマ：UC DAVIS EXTENSION 京都大学 UC 実習型・夏季短期留学プログラム

(-UC DAVIS EXTENSION- KYOTO UNIVERSITY ENGLISH FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY INTERDISCIPLINARY RESEARCH PROGRAM)

【研究実施概要】

- ・カリフォルニア大学デービス校で英語の学習と企業訪問をした。
- ・研究テーマはデザイン戦略とイノベーションでグループでそのテーマについて探求した。
- ・授業ではプロナウンシエーション、プレゼンテーションの学習、科学技術に関するホットトピックについての学習をし、主体的に取り組んだ。
- ・外部講師による、再生エネルギー、自動車の燃費について、教育についてなどの特別授業を受け、この講義について内容を要約するという作業を行った。
- ・課外活動として IDEO、Lunar、California Lightning and Technology Center を訪問した。
- ・それぞれの企業でデザイン戦略やその企業の発明した商品、イノベーション、マネジメントなどについて学んだ。
- ・授業や企業訪問などでみにつけた知識などをもとにプレゼンテーションをつくり、グループで最終成果として20分程度のプレゼンテーションを行った。



【研究成果概要】

企業訪問として IDEO、Lunar、California Lightning and Technology Center という3つの企業を訪問し、自分たちの研究テーマのデザイン戦略とイノベーションについて知識を深めることができた。英語での学習においては、それなりにリスニング能力やコミュニケーションにおいて能力が向上したと思う。

また、自分たちの研究テーマについて、グループでの英語のプレゼンテーションもうまく行うことができた。研究計画はほぼ達成できたと思う。

【外国語のスキルアップ・コミュニケーション能力の向上、海外におけるネットワークづくり】

英語のスキルアップについてはリスニングの能力が以前より向上したと思う。

日常会話程度であれば相手の言いたいことをだいたい理解し、自分の意見をジェスチャーなども含め伝えることができるようになった。また現地ではわからないことだらけなので、積極的に自分から話しかけに行くことでコミュニケーション能力が向上したと思う。ネットワーク作りは、ホストファミリーや先生以外とはあまり交流がなく、れほど人脈づくりはできなかった。



【派遣の感想】

派遣先の UC Davis の先生方は非常にいい先生ばかりで、英語の勉強もはかどり、さらに楽しく学ぶことができて良かった。また企業訪問が3つもあり、IDEO、Lunar、California Lightning and Technology Centerそれぞれに面白い企業で、興味が持てるものだった。実際に働いている現場を見る機会は普段なく、貴重な体験ができたとともに、自分の進路を考えるうえでとても有益だった。英語でのコミュニケーション能力も日々向上していくことが実感できた。今後も英語能力の向上のため、英語学習を続けたり、日本にいる外国人との交流などをしていきたいと思った。

今回のプログラムが自分にとっての初めての海外生活であり、非常に良い経験ができたと考えている。